

～第39回 早朝連続参拝開催～



今年も8月1日から10日まで開催されました(記念撮影:30.8.5)



発行所
岡谷市郷田一丁目6番3号
TEL(0266)22-2524
金松山 敬念寺
発行
敬念寺門信徒会
編集
会報組織委員会

朝7時はみ仏さまや
彼(か)の人との
出会(であ)いの時間

小僧の目

▼今月の法語「煩は身をわずらわす 悩はこころをなやますという」の通り、今年は春よりこの秋まで五体不調で病院通いが続き、寺内の身内はもとより門信徒のみなさまに迷惑や心配をかけ通してありました。▼喜寿の字づらとは裏腹に長年の不摂生も味方しての自業自得の結果であります。▼来年は元号が代わり新しい歴史が開かれます。ここで病を転じて心豊かな人生を歩むために努めたいと思います。▼早くも今年の報恩講の準備にとりかかりました。報恩講は宗祖親鸞聖人のご遺徳をたたえ、九十年のご苦労の中に明らかにされた「本願念仏の教え」をわが身に聞かせていただくご縁であります。▼「遇い難くして、今、遇うことを得たり」と申します。健康でこの命ありますお陰で、聞法の座に遇うことが出来るのであります。今からご都合つけられご縁にあつていただきたいと願ひ、ご案内いたします。

釋 玄真

平成三十年度

報恩講法要のご案内

— 今年最後の法要です。おさそい合わせてお参り下さい —

◆日 時 平成三十年十一月十一日(日) 午前十時より

◆行事日程 (開始十分前には入堂し着席ください。)

○受付 九時三十分～九時五十分

○報恩講法要 十時～十時四十五分

○コールガンダー・仏教讃歌の発表 十時五十分～十一時

○法話 十一時～十二時

講師 木賈慈教先生(長野市)

「今ここでの救い」

○おとき(会食) 十二時～十三時

◆報恩講協賛 門信徒作品展・菊花・山野草展示他

寺院行事案内

- 11月11日(日) 報恩講法要 前10:00
講師 木賈慈教先生(長野市)
- 1月1日(火) 元旦会(法要) 前7:00
- 1月16日(水) ご正法要(新年初まいり) 前10:00
- 3月21日(木) 春の彼岸法要 前10:00

ご定例法話会案内

- 11月20日(火) 講師 山崎慶雅先生(長野市)
- 12月20日(木) 講師 雲林重正先生(新潟県)
- 1月20日(日) 講師 未定
- 2月20日(水) 講師 三寄靈証先生(福井県)
- 3月20日(水) 講師 長井順一先生(新潟県)

いずれも毎月20日 夜7:00からです。

「リニューアルした」 第三十五回ファミリー参拝行われる！

昨年まで七月上旬の土曜日夕方から実施していたファミリー参拝ですが、今年は内容をリニューアルして行われました。

今回は最終日曜日の昼間に時間設定し、本堂での参拝と阿弥陀様の前での記念写真を目玉に、恒例の流しソーメンを加えた内容としました。学校の夏休み最初の日曜日ということもあってか、参加家族は少なかつたですが、お寺を身近にしたいと試みとして、次へつなげていきたいと考えています。



本堂でのお参り (30.7.29)



恒例の流しソーメン (30.7.29)



阿弥陀様の前で記念写真 (30.7.29)

第三十九回早朝連続参拝に 延べ四百三十一人参加 (皆勤三十人)

第三十九回目となる早朝連続参拝が八月一日から十日間行われ、延べ四百三十一人が参加。昨年より参拝者が減少しましたが、皆さん熱心にお勤めされました。

日中は酷暑と言われるほど暑い日が続きましたが、朝の涼しい空気を味わいながらの参拝でした。

今年は「正信偈」でお勤めをした後、若院による講話「浄土真宗の三本柱」を四日間聴聞させていただきました。毎月二十日の定例法話会や法要などでも聴聞させていただいている、浄土真宗の「他力本願」「悪人正機」「往生浄土」について、分かりやすくお話してくださいました。

初日挨拶でご住職は、三十九年前壮年部発足と住職就任記念として始まった頃を振り返りながら、長年続けてこられたのは門信徒の皆さんのおかげと感謝の言葉を述べられました。

五日目の日曜日には、茨城県清心寺副住職の増田廣樹先生の「願われた命を生きる」と題した法話を聴聞させていただきました。今年は四人の方々に感話発表を

していただきました。人生でのエピソードや信条、趣味、中央教修受講体験、東北震災地ボランティア活動など貴重なお話をお聞きすることができました。



日曜日の講師増田廣樹先生 (30.8.5)



初日に挨拶するご住職 (30.8.1)

ファミリー参拝記念写真 (30.7.29)



報恩講

〔拝読 浄土真宗のみ教え〕 四四頁

報恩講は宗祖親鸞聖人の遺徳をたたえ、その恩を報ずる法要である。親鸞聖人三十三回忌に際し、報恩講と名付けられて以来、毎年宗祖のご命日を縁として、脈々と営まれ続けている。

親鸞聖人は、阿弥陀如来の本願の教えを明らかにされ、その九十年のご生涯を、念仏の道ひとすじに歩まれた。今、私たちが、浄土真宗の救いのよろこびにあえたことも、聖人のご苦勞のたまものである。

報恩講に際し、蓮如上人はお示しになられた。

すみやかに本願真実の他力信心をとりて わが身の今度の報土往生を決定せしめんこそ まことに聖人報恩謝徳の懇志にあひかなふべけれ

他力の信心を得て浄土の往生を決定することこそ、親鸞聖人のご恩に対するなによりの報謝となるのである。



齊藤さんは、東京に本社がある(株)堀内電機製作所岡谷工場執行役員常務を勤められています。取材でお伺いした工場の部屋で緊張して待っている、笑顔でおおらかな感じの齊藤さんが見え、緊張が解けホッとしました。

お寺の玄関に齊藤さんのウチヨウランが飾られていることを話題にしたところ、小さな花なのに楚々として咲く姿に魅せられて育てて

しょう しき
青 色
しょう こう
青 光
六十八回

優しい笑顔で仕事に励む

齊藤 定夫 さん
岡谷市中央町

いると、満面の笑顔でお話されました。また、岩松のお話などされて、花や植物が好きな優しいお人柄とお見受けしました。

殊更お花に向ける心には、一年八か月前にお浄土に往かれた奥様を偲び、奥様と共にお花を愛されたことがあると、懐かしそうに話して下さいました。

敬念寺とのご縁は、祖父さんやお父さんが野菜をお寺に寄進されていた頃からだそうです。

会社は創業七十四周年になりました。昭和四十八年に先代の社長が東堀に工場を新設し、平成三年に現在地の今井に移転しました。

齊藤さんに工場内を案内していただきましたが、約3mもある大型プリンターや、超微粒な異物を検出するための精密機器、又、販売している水(アルピナ)など興味深く拝見させていただきました。そのお水を飲ませていただきましたが、軟らかくとてもおいしい水でした。

又、作業中の社員が手を止めて笑顔で会釈してくれたのが印象に残りますが、途中で辞める人はゼロに近いそうです。齊藤さんの「なんといつても人は宝です」のお言葉と笑顔に見送られてお暇いたしました。

(滝川 記)

— 投稿ひろば —

岡谷市佐藤孝一さん（会報組織委員会運営委員）のお孫さんから、海外留学の体験を投稿していただきました。

海外留学で得た貴重な体験

所沢市 篠田 奈都

私はマレーシアのクアラルンプール大学へ去年の九月から今年の一月の約五か月間留学しました。皆さんはマレーシアと聞いて何を思い浮かべますか？

私は、マレーシアと聞いてイスラム教の国だから治安が悪く、また東南アジアなので汚いというイメージを持っていました。

しかし、実際に足を運んでみると、マレーシアの大半の人はイスラム教徒でしたが、イスラム教徒で過激なのは、ニュースで報道されるようなごく一部の人間で、みんな純粹に神を信仰している心温かい人たちでした。例えば、私が学校の課題で困っていると、必ず「大丈夫？理解できている？わからなかったら、助けるからいつでも声をかけてね」と言ってくれ、何度も助けてもらいました。

また、ほとんど私たちと考えていることは同じで、例えば、勉強で

悩んだり、恋愛のことで悩んだり、友人と夜遅くまでおしゃべりを楽しんだりして、日本の若者とほとんど変わりませんでした。また、マレーシアは最近成長が著しいアジアの国の一つであり、クアラルンプール空港や、ショッピングモールは日本よりも進んでいる部分が多くあり、私が想像していた発展途上の東南アジアとはかけ離れていました。

このように、私の勝手な偏見から思い描いていたマレーシアの悪いイメージは壊され、マレーシアの良いところをたくさん発見することが出来ました。

例えば、ご飯がおいしいところです。マレーシアには、イスラム教徒とヒンドゥー教徒が多く存在しているため、牛と豚を食べることはあまりできませんでした。しかし、その分、鶏肉を使ったメニューが豊富で、私はナシ・ゴレン・パタヤという日本でいうオムライスのようなものがお気に入りでした。また、マレーシアは南国なのでマンゴーやバナナ、スイカにパイナップルなどがいつでも美味しく、そして安く食べられます。

そして、マレーシアの海はとてきれいです。マレーシアは発展途上だからこそ、まだありのままの自然が残されている場所が多く、そういった自然を最大限に感じる

ことが出来ました。

このように、マレーシアには良いところがたくさんありますが、やはり貧しい人は日本に比べて多いようで、街を歩いていると、日本では見かけないような、子どものホームレス、ストリートチルドレンも多く見かけました。また、マレーシアでは賃金が安く、日本では考えられないような安いお金で働いている人が多くいました。

こういった面も見て、私は日本で何不自由なく裕福に暮らせていることや、視野を広げることや多文化理解のきっかけとなったマレーシア留学をさせてくれた父母に感謝しようと思いました。



（クアラルンプール大学の友達と）

敬念寺HPアクセス状況

敬念寺では平成二十七年十二月にホームページを開設し、情報発信しています。開設以来約三年が経過してアクセス回数も増え、一定の役割を果たしています。

今後とも内容の更新に努めますので引き続きご愛読ください。

敬念寺ホームページ（HP）閲覧件数

27.12.15～28.12.31	30年4月	1,724
14,033件 38件/日	30年5月	2,315
29.1.1～29.12.31	30年6月	3,746
16,107件 45件/日	30年7月	2,503
30年1月 1,327	30年8月	2,614
30年2月 1,276	30年9月	2,315
30年3月 1,413	19,233件 71件/日	

平成31年回忌表

（あなたのお家は？）

1周忌	平成30年
3回忌	平成29年
7回忌	平成25年
13回忌	平成19年
17回忌	平成15年
23回忌	平成9年
27回忌	平成5年
33回忌	昭和62年
37回忌	昭和58年
50回忌	昭和45年
100回忌	大正9年

（上記を参考に予定ください。）



▲第7回早朝公開講座 (30.6.10) 【「植物と水とのつきあい」】：講師 岡崎芳次先生】



今年度計画された寺院及び門信徒会の行事が行われていきます。その様子を写真で紹介します。

行事の様子紹介



▲菊づくり講習会 (30.7.1)



▲境内に移植された見事なドウダンツツジ (30.4.29)

トピックス！

門信徒会費・護寺協力金納入の御礼

今年度の門信徒会費につきましては、皆様にそれぞれご配慮いただきありがとうございました。また、財務基盤強化のため平成二十八年度に新設された「護寺協力金」については、担当のお世話人様には説明とお願いに大変なご苦勞をおかけいたしました。今年度もお陰様で、大変多くの皆様方のご理解をいただき、七十五万円余（九月末現在）の尊いお心を賜りました。ご協力下さった門信徒の皆様並びにお力添えいただきましたお世話人様に厚く御礼申し上げます。この浄財は「護寺基本金」に積み立てて、今後の大規模営繕・大型法要費用等に備えてまいります。ありがとうございます。

門信徒会会長 千原 博幸
財務委員長 西山 周治

敬念寺親睦旅行参加者募集中！

～牛久大仏・房総・記念艦三笠を巡る～

恒例の親睦旅行が次のように行われます。気心知れた「お寺のお仲間」で行く楽しい旅行です。定員にまだ余裕がありますので是非ご参加ください。お申し込みはお寺まで。

期日：11月29日(木)～30日(金)

行程：【一日目】敬念寺(6:00)～牛久大仏(浄土真宗東本願寺派の寺院)～香取神宮(関東屈指の名社)～月の砂漠公園～宿泊：勝浦スパホテル三日月(でっかい温泉、太平洋一望の素敵な眺め)
【二日目】海産物ショッピング～鋸山「日本寺」(日本一の大仏様)～金谷港～
＜東京湾フェリー＞～久里浜港～記念艦「三笠」(戦艦三笠見学)～敬念寺(19:00)

費用：一人 32,000円